

I C Tを活用したキャリア教育の推進

副題

～生活科・総合的な学習の時間を中心に～

学校名	大田区立調布大塚小学校
所在地	〒145-0067 東京都大田区雪谷大塚町12-1
ホームページ アドレス	http://academic2.plala.or.jp/cfote/

1. はじめに

本校は、平成24・25年度大田区教育委員会教育研究推進校として、生活科・総合的な学習の時間を中心に研究を進めている。

その中では、電子黒板や実物投影機、デジタルカメラ等の活用も求められていることから、I C T機器を活用した実践的な研究が本校の重要な柱となっている。

2. 研究の概要

キャリア教育の重要性を考慮して、本校の生活科・総合的な学習の時間の年間指導計画の見直しを行った。その結果、生活科・総合的な学習の時間とキャリア教育との関連が強く結びついていることが分かった。そこで、新たにキャリア教育の指導計画を設定するのではなく、本校の生活科・総合的な学習の時間をキャリア教育の視点から整理し、そこにI C T機器の効果的な活用方法を位置づけていくことにより、「I C Tを活用したキャリア教育」を推進していくこととした。

3. キャリア教育と生活科・総合的な学習の時間との関連

「キャリア教育」推進の指針を示した、文部科学省「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者報告書～児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てるために～」(平成16年)では、「キャリア教育」とは「児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育」とある。また、この報告書の添付資料の中でキャリア発達に関する4つの能力領域「人間関係形成能力」「情報活用能力」「将来設計能力」「意思決定能力」を示しており、さらにこれらの4能力領域に下位項目である8能力を示し、各学校の発達段階で育成していく能力や態度の項目を挙げている。

本校の生活科では「興味・関心」「活動・体験」「表現・振り返り」の3段階の学習過程を、総合的な学習の時間では「課題設定」「情報収集」「整理分析」「まとめ・表現」の4段階の学習過程を設定している。これらの学習過程の中にキャリア教育の4領域8能力の位置づけを考え、指導内容を一覧表にまとめることとした。さらに、指導内容を達成していく上でのI C T機器の活用例を示すことで、学習活動が円滑に進むようにした。なお、一覧表作成には沼津市立原東小学校の事例を参考にさせていただいた。

学習過程		キャリア教育		低 学 年	中 学 年	高 学 年
生活	総合	領域	能力			
興味・関心	課題設定	将来設計能力	計画実行能力	<ul style="list-style-type: none"> ・夢や希望がもてる ・知りたい、調べてみたいなどの活動意欲や関心がもてる ・学習の手順が分かり準備や片付けができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の将来の夢や希望がもてる。 ・課題を教師と共に作れる ・学習の計画を教師と共に作りその手順が分かる 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の将来について考える大切さが分かる ・児童が自ら課題を作れる ・学習の見通しや段取りを計画することができる
			役割把握能力	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな仕事や役割があることが分かる 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの役割や役割分担の必要性が分かる 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活にはいろいろな役割があることやその大切さが分かる
活動・体験	情報収集	人間関係形成能力	情報収集・探索能力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の知りたいことを先生・友達・家族・町の人などから聞いて調べられる 	<ul style="list-style-type: none"> ・解決するために必要なことを聞いたり、見たり、本やインターネットを使ったりして調べられる 	<ul style="list-style-type: none"> ・解決するために必要な情報を、適切な方法で探すことができる
			自他の理解・コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> ・いっしょに楽しく活動できる ・相手のことを知ろうとする ・自分の考えをみんなの前で話すことができる ・あいさつや返事、お礼をしつかり言うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と協力して学習や活動に取り組むことができる ・相手の気持ちや考えを理解できる ・自分の意見や気持ちをわかりやすく表現することができる ・マナーを意識して行動できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と協力して学習や活動に取り組む、役割や責任を果たすことができる ・相手の立場に立って考え行動できる ・自分の考えをわかりやすく表現したり、友達の考えをしつかり聞き自分の考えと比べたりすることができる ・正しいマナーで行動できる
表現・振り返り	整理分析 まとめ・表現	意思決定能力	選択能力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きなもの、大切なものを選ぶことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のやりたいこと、調べてみたいことを進んで選ぶことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな選択肢の中から、根拠をもって進んで選ぶことができる
			課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことを自分で解決することができる ・教師といっしょに振り返りができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の力で課題解決に向けて、最後まで努力することができる。 ・自己評価できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に積極的に取り組み、自らの判断で主体的に取り組むことができる ・自己評価して、次の課題などをもてる

4. 生活科・総合的な学習の時間における、ICT機器活用例

学習活動	活用するICT機器	主な内容
調査活動	○パソコン	・インターネットを活用し、課題解決に必要な様々な情報や資料を得る
取材活動	○デジタルカメラ ○デジタルビデオ ○ICレコーダー	・取材対象を写真や動画で記録する ・取材活動のメモを補い、まとめに役立てる
表現活動	○パソコン ○実物投影機 ○電子黒板	・発表の際に、視点を明確にし、聞いている人がわかりやすい資料をプレゼンテーションソフトで作成する ・発表資料を映し出す。必要に応じてペンで書き込み説明する
広報活動	○パソコン	・ホームページで学習の成果を多くの人に知らせる

5. 研究の実践

本年度の研究の中から、ICTを活用したキャリア教育の実践事例を紹介する。

(実践例1)

第2学年 生活科「まちをたんけん 大発見」指導計画 (全26時間)

	学習活動【キャリア教育との関連】	ICT機器の活用場面
興味関心	<p>○まちたんけんのじゅんびをしよう</p> <p style="text-align: right;">【将来設計能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の公園や知っているお店について話し合う。 ・日常生活の中での自分と町との関わりを想起させる。 ・家から学校までのマップ作りをする。 ・探検の道順を教師と共に考える。 ・探検する時のマナーについて知る。 	 <p>電子黒板と実物投影機の同時活用</p>
活動体験	<p>○まちたんけんをしよう。</p> <p style="text-align: right;">【情報活用能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ毎に歩いて回りながら、町の秘密を発見する。 ・グループに1台ずつデジタルカメラを持たせ、見つけた町の秘密を撮影する。 ・近くに町やお店の人がいる場合はインタビューをさせてもらう。 	 <p>*町の秘密をデジタルカメラで撮影</p>

○見つけたひみつをカードにまとめよう。

【意思決定能力】

- ・ひみつをキャッチコピーで表現することで、特徴を表せるようにする。
- ・デジタルカメラで撮った写真をプリントしおき、カードに貼る。

○見つけたひみつを発表しよう

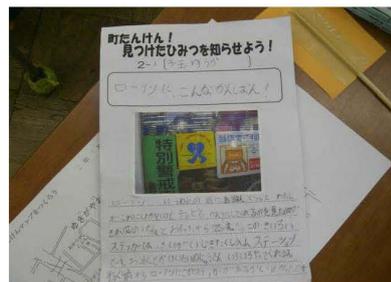
【情報活用能力】

- ・町のひみつカードを実物投影機で写しながら発表する。
- ・発表と同時に、秘密を見つけた場所を電子黒板上の白地図に記していく。

○たんけんマップを完成させよう

【情報活用能力】

- ・電子黒板を見ながら手持ちの探検マップを完成させる。



まちのひみつカード



実物投影機を使用して発表する



エクセルで作成した白地図のシートの上に、撮ってきた写真を貼り付けていく

表
現
・
振
り
返
り

○1年生に町のひみつを伝えよう

【情報活用能力】

- ・1年生がわかりやすいように発表の仕方を工夫する。

○お礼の手紙を書こう

【人間関係形成能力】

- ・地域の人、手伝ってくれた保護者の方々にお礼の手紙を書く。



実物投影機を使って町のひみつを1年生に紹介する

(実践例2)

第5学年 総合的な学習の時間「食文化大発見」指導案 (3/20時間)

課題設定	学習活動【キャリア教育との関連】	ICT機器の活用場面
	<p>1. 寿司についてのイメージを広げよう</p> <p style="text-align: right;">【将来設計能力】</p> <p>○いろいろな寿司に関連する写真を提示し、イメージをふくらませる。</p> <ul style="list-style-type: none">・外国の寿司 ・江戸時代の寿司・地方に伝わる寿司 ・寿司屋・季節や行事に関する寿司 <p>○寿司に関係する写真を見せ、気づいたことを自由に発言させる。</p> <p>2. 寿司に関して、ウェビングマップ(イメージマップ)を作ろう</p> <p style="text-align: right;">【将来設計能力】</p> <p>○寿司に関係する写真を見せ、気づいたことを自由に発言させる。</p> <p>○写真は1枚ずつ実物投影器で拡大して提示し、提示し終わった写真は黒板に貼っておく。</p>  <p style="text-align: center;">ウェビングマップ作り</p> <p>3. できたウェビングマップを発表しよう</p> <p style="text-align: right;">【情報活用能力】</p> <p>○ウェビングマップを見て、一番調べてみたいことを課題に設定する。</p> <p style="text-align: right;">【将来設計能力】</p>	<p>ICT機器の活用場面</p>  <p style="text-align: center;">実物投影機と大型テレビの活用</p>  <p style="text-align: center;">実物投影機で使った写真は黒板に残す</p>  <p style="text-align: center;">実物投影機を使って発表する</p>

5. 研究の成果と課題

- (1) 生活科・総合的な学習の時間を中心に指導方法の改善を図ってきた。その指導計画の中にキャリア教育の4領域8能力をねらいや評価に位置づけることで、児童のキャリア発達を促すことができることが分かった。生活科・総合的な学習の時間のねらいは、キャリア教育のねらいと重なる部分が多いことが確認できた。
- (2) ICT機器に関しては、はじめは数台の実物投影機を交代で使う取り組みであったが、授業の中で活用場面を模索したところ、生活科・総合的な学習の時間の課題作りや表現活動での有効性に気づくことができた。さらに、助成金を活用し、各学年1台ずつの実物投影機とプロジェクターを導入してからは、すべての学習活動で積極的に活用されるようになった。また、実物投影機をより効果的に活用するためにデジタルカメラや電子黒板の使用頻度も増え、教師だけではなく児童も積極的に活用するようになった。
- (3) 以上のように、生活科・総合的な学習の時間にICT機器の積極的な活用を図り、キャリア教育との関連を考えながら指導することにより、児童に人間関係形成能力や意思決定能力などを培うことができるようになった。本研究のテーマである「ICTを活用したキャリア教育の推進」に迫ることができたと考える。
- (4) キャリア教育を生活科・総合的な学習の時間を中心に実践してきたが、本来、キャリア教育は教育活動全体を通して系統的に取り組み、児童に勤労観、職業観を育成することにある。今回の取り組みを元に、本校独自のキャリア教育のカリキュラムを全教育活動で作成することを今後の課題としたい。その際に、ICT機器の活用を学習活動に的確に位置づけて、キャリア教育に関する児童の能力を高めるように進めていく。

【参考文献】

- ・小学校学習指導要領解説「生活編」及び「総合的な学習編」（平成20年8月）文部科学省
- ・小学校キャリア教育の手引き（平成22年1月）文部科学省
- ・はじめる小学校キャリア教育 三村隆男編 実業之日本社